

電通総研とクウジット、従業員ウェルビーイングの可視化と行動変容を支援する コンサルティングサービスの提供を開始

－ 学術的研究成果に基づく調査と AI コーチで企業のウェルビーイング経営を支援 －

テクノロジーで企業と社会の進化を実現する株式会社電通総研(本社:東京都港区、代表取締役社長:岩本 浩久、以下「電通総研」とクウジット株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:末吉 隆彦、以下「クウジット」)は、2026年5月26日(火)より、従業員のウェルビーイングを可視化し、行動変容を支援するコンサルティングサービスの提供を開始します。

本サービスは、「学術的裏付けに基づくウェルビーイング調査」と「AI コーチによる介入・行動変容支援」を組み合わせることで、従業員の体験価値を向上し、企業のウェルビーイング経営および人的資本経営の高度化を支援します。

職場環境ウェルビーイング構造モデル

人生への満足度に繋がる2つのパスとそれを構成する6つの因子群

- 職場環境ウェルビーイング構造 / 6つの因子と2つのパス

50問のウェルビーイング調査レポート

組織が機能するためのメカニズム(要因)を把握
組織の状態を色で表すウェルビーイングブーケ

- CALC因果分析※1
- ウェルビーイングブーケ

調査結果に基づく各種施策(例)AIコーチによる介入・行動変容支援

企業専属のコーチとして機能し、AIを通じて従業員がより健やかに働ける環境づくりを支援

- Well-being AI コーチ

- ・パーソナライズされたアドバイスとサポート
- ・ポジティブなマインドセットの形成
- ・能力引き出しと目標達成サポート

<従業員ウェルビーイングサービスの全体像>

■ 背景

近年、人的資本経営への関心の高まりとともに、「従業員のウェルビーイング」は企業価値向上に直結する重要なテーマとして注目されています。一方で、ウェルビーイングをどのように測定・把握すべきか、また調査結果をどのように施策や行動変容につなげるかといった課題を抱える企業は少なくありません。

こうした課題を背景に、両社は、研究・コンサルティングとテクノロジーを組み合わせ、ウェルビーイングの可視化から行動変容まで一貫して支援し、従業員の体験価値の向上を起点とした企業のウェルビーイング経営および人的資本経営の高度化を実現するサービスを開発しました。

■ サービス概要と構成メニュー

① 学術的裏付けに基づくウェルビーイング調査

本調査は、電通総研がこれまで取り組んできた働きがいおよび自律型人材に関する研究およびコンサルティン

グ支援の知見と、クウジットにおけるウェルビーイングの取り組みをもとに、新たな指標を開発したものです。武蔵野大学ウェルビーイング学部の保井 俊之教授、ならびに立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科の枝川 義邦教授の監修を受けています。

従業員数 100 名以上の企業に勤めるビジネスパーソン 1,900 名を対象とした市場調査を実施し、その分析結果から導き出した 6 つの因子と 2 つのパスにより、人生への満足度が高まる構造、すなわち「職場環境ウェルビーイング構造」を解明しました。

これら 6 つの因子を軸に、因果分析技術「CALC^{※1}(カルク)」を用いることにより、全 50 問のウェルビーイング調査を設計し、提供を開始します。調査レポートでは、単なるスコアの測定にとどまらず、組織が機能するための「メカニズム」を明らかにします。因果分析技術「CALC」により、「信頼関係がどのように創造性へとつながるのか」といったウェルビーイングの構造を可視化することが可能です。

さらに、組織の状態を数値だけではなく、「色」で表現する「ウェルビーイング・ブーケ」や、アンケート体験を「内省」と「リフレッシュ」の時間へと転換することを目指して開発したアンケート商材「Insight Dialogue(インサイト ダイアログ)」など、回答するプロセスそのものをウェルビーイングな体験とするソリューションも提供します。

② AI コーチによる介入・行動変容支援

ウェルビーイング調査では、従業員および組織の行動変容を促進する各種施策を提示します。その一環として、電通総研とクウジットが開発した介入・行動変容支援ツール「AI コーチ」を活用し、従業員一人ひとりの状態に応じた適切な介入を実施します。「AI コーチ」は、企業専属のコーチとして機能し、AI を通じて従業員がより健やかに働ける環境づくりを支援するものです。

また、AI ならではの特性を生かし、従業員が気軽に相談できる「企業内の AI パートナー」としての価値を提供します。さらに、AI コーチによる継続的な介入を通じて、従業員の意識および行動変容を促進し、組織全体のウェルビーイング向上に貢献します。

両社は今後も、電通総研の研究・コンサルティングに関する知見とクウジットの AI・データ分析およびサービス開発力を融合し、戦略策定から実行・定着にいたるまでを一貫して支援するウェルビーイングソリューションの提供を推進してまいります。

※1 CALC はソニー株式会社の登録商標です。CALC は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所(ソニーCSL)が開発した技術で、電通総研、ソニーCSL、クウジットの 3 社による業務提携に基づき提供されています。 <https://causight.tech/>

<ご参考資料>

■クウジット株式会社 <https://team-koozyt.com/>

クウジットは研究シーズを社会へ実装する事業構想とテクノロジーの会社です。社名の由来である「空」と「実」をつなぐことを理念に、“Curiosity=知的好奇心”と“Imagination=想像力”を原動力に、研究者と共に未来の価値を構想し、社会に届けていきます。私たちが目指すのは、テクノロジーを社会の良きことに活かすこと。

データ分析や AI を最大限活用し課題をひも解き、新しい知を実社会の解決策に変えていきます。その一連のプロセスを、知的好奇心に満ちたワクワクする挑戦と捉えています。

研究から芽生える知の種を、テクノロジーとデザインで育み、社会の中で循環させる。クウジットは、未来に貢献するイ

ノベーションを共創する“Research to Society”のハブであり続けます。

■電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という3つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コンサルティング本部 安松、平山

E-mail: g-info-con@group.dentsusoken.com

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 野瀬

TEL: 03-6713-6100 E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com